



# 産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例



フルハシEPO 株式会社

安全衛生情報では会員各社へ伺い、社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介します。

今回ご協力いただきました会員企業は、昭和22年創業、翌年「古橋製函株式会社」を設立され、以降「世のため 人のため 地球のため 社員のため 持続可能な社会を創造します」を経営理念に掲げ、令和4年に75周年を迎えられました「フルハシEPO株式会社」です。

創業時よりの「ベンチャー・スピリット」を原動力に、産廃処分業（7県、4市）、産廃収集運搬業（4県）、一般廃棄物処分業（8市）においては、広域での廃棄物適正処理に貢献され、また、環境ソリューション事業（バイオマテリアル事業、資源循環事業等）を主力事業とし、エネルギー創出事業（CEPO半田バイオマス発電所、川崎バイオマス発電所）にも参画、及びSDGsへの取組を積極的に展開されています。

今号では、同社安全衛生委員会の橋本勝雄事務局長より、安全衛生への取組についてお話しを伺いました。

## ◆労働災害ゼロ達成に向けた 安全衛生委員会の2年間の取組事例

### 《令和3年度》

1. 不安全設備に対する安全対策  
コンベアによる挟まれ・巻き込まれ防止
2. 不安全行動に対する安全対策  
指差し呼称の実施と定着、危険作業の掲示と周知、安全決意表明
3. 安全教育  
安全管理者選任時研修の受講、工場長（部長）による安全講話

### 《令和4年度》

1. 安全衛生リスクアセスメント実施：17工場全社  
・安全衛生リスクアセスメント実施マニュアル作成

・安全衛生リスクアセスメント実施スケジュール作成

2. 指差し呼称コンテスト（7月・1月実施）
3. 安全標語募集（10月実施）

150～160通の応募があり、その中から役員等が選出し、全社へ安全標語を掲示

## ◆定例的な取組

・毎月提出されたヒヤリハットは、委員会で報告され全工場へ横展開をしています。

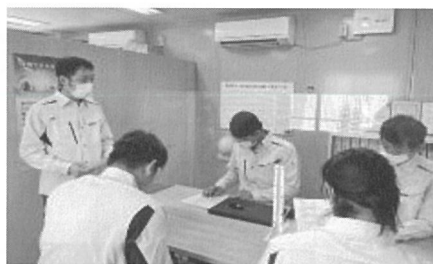
・熱中症防止対策：6月

6月1日～9月30日の期間は温度管理の下、各設定温度にて水分の補給、各所に塩タブレットを配置、1時間に10分の休憩を取ります。



### 2021年度 安全決意表明

作業開始前には、必ず「指差し呼称」を行い安全を確認する



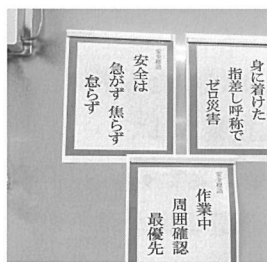
工場長安全講話の様子



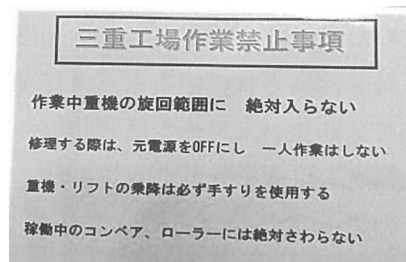
指差し呼称実施



マスク着用願いポスター



休憩室に貼ってある安全標語



禁止事項掲示の様子（三重工場）

## ◆リスクアセスメント事例

場所	現在の状況	対策	リスク低減対策
作業場	荷下ろし場の土間が陥没しているため、作業時に荷物をひっくり返す可能性がある	舗装材を投入して補修を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>陥没穴が広がる前に補修を実施する</li> <li>陥没したところで作業は行わない</li> </ul>
施設内	機械に投入時、作業車がかんだ物が、施設内通路に飛散する	投入時にアクセルを上げすぎず、丁寧に作業をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>投入コンベアの鉄板の位置を高くした</li> </ul>
ヤード内	原料ヤード内でのリフト通路の土間が破損	一旦使用をやめ、土間工事を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>土間改修工事を行う</li> <li>土間破損部分を全体に周知する</li> </ul>

- 各工場安全パトロール：7月  
構内の危険箇所のパトロールを行います。
- 防災訓練：9月  
木質が多いため防火対策を強化。また、発災時における緊急対応のシミュレーションを訓練において体験します。
- BCP訓練：11月  
緊急対応マニュアルの見直し、及び各部署の連携を見直す機会とします。
- ドライブレコーダー診断：1月  
新入社員は2～3週間ほど、営業車の走行時における急ブレーキ、停止、スピード、発進等を記録し外部機関からアドバイスがあります。結果により講習会を実施する場合があります。
- 作業環境整備：2月  
各工場における作業環境について、騒音・照度・粉塵等を計測し基準値のクリアを目指します。

### ★橋本事務局長コメント

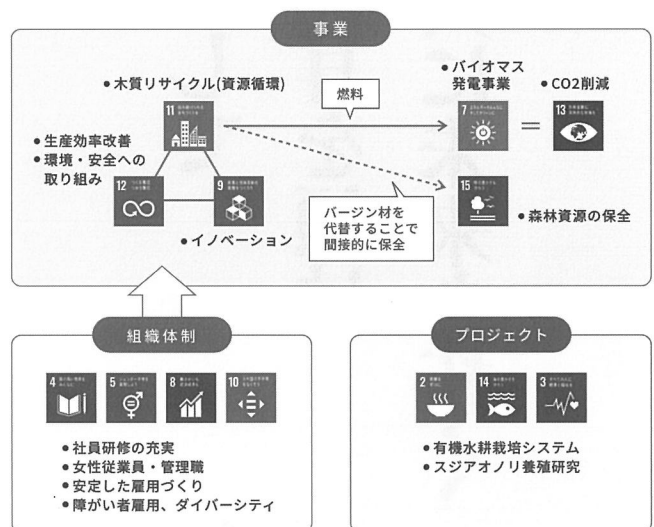
リスクアセスメントでは点数付けをして危険項目を洗い出しますが、どうしても「残留リスク」が残ります。現在法律では努力義務ですが、安全衛生委員会の柱として「残留リスク」の管理、及び従業員の安全教育を推進し、17工場での災害事故ゼロを目指して取り組んでいます。

## プラスα

### 企業活動においては

同社は主力業務として木質リサイクルチップの製造を行っています。

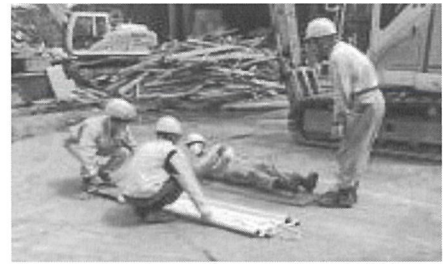
建設廃材を廃棄物ではなく、資源として有効活用し、製造された木質リサイクルチップの一部は、バイオマス発電燃料としてクリーンエネルギーを生み出しSDGsの目標に貢献しています。



熱中症防止ポスター掲示



防災訓練における放水訓練



防災訓練における担架で人を運ぶシミュレーション



安全パトロールの点検の様子



事例：安全パトロール指摘事項／左（改善前）、及び改善結果／右（改善後）